

令和5年度も、校長室から日頃の「雑感」をお届けいたします。昨年度は沢山の生徒の皆さんに校長室に来ていただきお話を伺うことができました。今年度も、感想や談話等の内容を掲載させていただく予定ですので、ご笑覧いただけましたら幸いです。

One for all, All for one. No.86

R5.10.1 「花園まであと一歩」

札幌ドームを会場に行われた「全校高校ラグビー南北北海道大会」の決勝。沢山の保護者や関係者の皆様に足を運んでいただきましたが、惜しくも準優勝で今シーズンを終えることになりました。

昨年の敗退をバネに新チームとしての土台をしっかりと築き上げ、万全な状態で臨んだ決勝戦であっただけに、選手の思いも複雑であったことと思います。

序盤早々に相手チームの猛攻を受け、常に追いかける展開になったこともあるのかもしれませんが、ところどころに焦りの見られるプレーが出てしまいました。

相手チームの冷静な試合運びと鍛錬された素晴らしい技術を讃えることはもちろんですが、本校生徒も全力を尽くし、最後まであきらめることなく闘っていました。

3年生は引退となりますが、ラグビーを通して学んだ多くのことを今後の人生に活かして欲しいと切に思います。



One for all, All for one. No.87

R5.10.2 「オープンスクール」

「オープンスクール」に、沢山の中学生の皆さん並びに保護者の皆様に足を運んでいただき、感謝の思いでいっぱいです。

また、引率や参加数及び体験講座の集約等にご尽力を賜りました、各中学校の校長先生はじめ担当教諭の皆様方には、改めて厚く御礼申し上げます。



各体験講座は、中学校の皆さんのご協力のお蔭でとても良い雰囲気の中で実施すること

ができました。少しでも楽しんでいただけたのなら幸いです。

今年度の入試イベントはこのオープンスクールをもって終了となりますが、他にもお知りになりたいことやご不明な点がありましたら、いつでも個別に対応させていただきます。お気軽にご連絡ください。



また、ホームページには入試情報をはじめ、進路実績、学校行事、部活動成績、各種通信など様々な学校関連情報を紹介しています。ご覧いただければ嬉しく思います。なお「web出願」等に係る入試案内情報も、準備が整い次第、順次掲載していきます。

今後とも「新生旭川龍谷高校」をどうぞよろしくお願ひいたします。

One for all, All for one. No.88

R5.10.4 「後期生徒会総務役員、HR役員任命式」

10月1日から後期の教育活動が始まり、それに合わせて生徒会総務役員、HR役員も新しい顔ぶれになりました。



前期総務役員とHR役員の皆さんは、コロナ禍で一度も経験していない生徒会行事を、皆で力を合わせ、創意工夫ある企画・運営に導いてくれました。本当にお疲れさまでした！

いま、後期役員の皆さんにバトンが渡りましたが、役員の方だけだけを頼るのではなく、在校生全員が自発的に学校づくりに関わり、協力し助け合う中でより良い環境を作ってくれることを期待しています。

One for all, All for one. No.89

R5.10.5 「芸術教室」

今年度の芸術教室は、東京芸術座の皆さんが演じる「12人の怒れる男たち」です。この作品は古くから上演されている名作で、12人の個性ある陪審員による言葉のやり取りや揺れ動く心情が細かに演じられ、観客をその状況下に引き込む迫力がありません。

演劇の芸術性は、演じられる様々な人間模様を自身に重ね合わせ、自分ならどう考える、どう判断する、どう行動するかを自身に問いかけ



ながら、自分と向き合う中で感性を磨いていくところにあると思います。

今回の演劇鑑賞を通して、生徒個々が自分の生き方や在り方を今一度深く考えるきっかけになってくれればと思います。

One for all, All for one. No.90

R5.10.7 「ラーメン甲子園」

旭川ラーメン村特設会場で開催された「ラーメン甲子園 2023」で、旭川龍谷が2連覇を成し遂げました。調理にあたったサッカー部の面々の手際よさと独特の味付けが高い評価を得ました。



この催しは高校生とラーメン店の協働プロジェクトによりもので、本校は「麺屋くるる」さんのご協力を得ながらオリジナルラーメンに挑戦しました。

スープには豚骨やチキンエキスをブレンド、さらにチャーシューや芦別さんの煮卵、十勝産の長芋すりおろしをあぶったものをトッピングするなどの凝りよう。

どの店舗からも高校生の活気あふれる声が響き渡りました。

One for all, All for one. No.91

R5.10.10 「男子バスケット部が快勝！」

高体連秋季大会（新人戦）で男子バスケット部が見事支部の頂点を制しました。毎年確実に力をつけ周囲からの注目が集まる中、それらのプレッシャーを撥ね退けての快勝に関係者も大喜びです。「あっぱれ！」

キャプテンの2年生 池崎 豪君は「一人一人が自分の役割を果たし、それがチームとしてかみ合ったことが勝利の要因だと思います。ただ、緊張からか予選は思うような戦い方ができなかつたので、スタートから自分たちのパフォーマンスが発揮できるようもう一度鍛えなおします」と、次のステップに意欲を燃やします。

小1からバスケットを始めた副キャプテンの2年生 菊池 琉毅君は、今大会の最優秀選手にも選ばれました。「速攻を武器に有利なオフェンスを作ることで3ポイントを数多く決めることができました。今後はターンオーバーを減らすために、常に冷静なプレーができるよう練習でも心がけたいと思います」と、高みを目指した自己分析にも余念がありません。

前回のキシイカップで優秀選手賞に輝いたゲームキャプテンの2年生 松井 葵君は、



「今大会では皆がブレイク（速攻）を意識して試合に臨みました。相手ディフェンスが整う前に優位なポジションどりができたことがシュート率のアップにもつながったと思います。今後の課題はディフェンスの強化です」とゲームプランナーとしての言葉にも一段と重みを感じられます。

女子バスケット部も接戦の末の3位と、着実に力をつけてきました。私生活も含め充実感を増してきたバスケット部員の今後に大いに期待です。

One for all, All for one. No.92

R5.10.15 「みんなで作る旭川の未来」



この催しは旭川青年会議所が中心となり、誰もが活躍できる社会の実現のために企業や団体の活躍を発信し後押しすることで、地域社会の継続的な発展につなげることを目的に行っているものです。

「あさひかわみんなのおまつり 2023」と題したイベントに、本校からも郷土部と合唱部が参加しました。市内で活動する市民団体や企業、学生や生徒などが一堂に会し、互いの活動を理解し合い共感や応援につなげることができれば、市の文化はもっと活性化することでしょう。



郷土部は「アイヌ文化の伝承」を、合唱部は「日頃の練習の成果」をそれぞれ発表し、多くの市民の皆さんから支持を得ました。

今後も地域との交流を積極的に行い、活気ある街づくりに少しでも貢献できたらと思います。今回参加してくれた生徒の皆さん、本当にお疲れさまでした。

One for all, All for one. No.93

R5.10.16 「管内高等学校教育研究会音楽分科会」

藤平 竜多先生による音楽の研究授業を拝見しました。その後の研究協議では、管内からお集りの音楽の先生方によって「授業の在り方」について話し合いがなされました。

1年 GH 組の生徒を対象にした研究授業では、身近にあるコップ音や机たたきを活用した独特のリズム表現や手拍子などの奏法を用い、リズムを正確に捉えること、音やリズムの構成や重なりを意識すること、曲のイメージに合わせた創意工夫やパフォーマンスを考えてみることなどを学習しました。



身近なものを活用し、他と協働しながらリズムを刻む生徒の表情からは、音楽を心底楽しむ様子が自然と伝わってきます。

聴いたり、歌ったり、楽器を奏でたりする喜びももちろんですが、こうして曲想に合わせながら自分なりの表現を試行錯誤して仕上げていくことも音楽の大きな魅力の一つです。

R5.10.18 「交通安全教室」

多くの3年生が、この時期から年末にかけて進路が決定し、それに伴い自動車免許取得に向かう生徒も増えてきます。

そのため本校では、自動車に関する交通事故の恐ろしさを再認識し、交通安全意識を高めてもらうための「交通安全教室」を3年生を対象に実施しています。

北央自動車様のご協力による交通安全講話、生徒指導部による加害者・被害者の命の大切さについての講話、学年からの自動車免許取得に係る手続きや条件説明などを行いました。



R5.10.19 「教育実習」

2期目となる教育実習期間に、国士舘大学4年生の 泉 幸成 先生が3週間の保健体育実習に来校されました。



現役時代は柔道部に所属し数々の実績を残すだけでなく、練習の合間を縫って柔道部員で参加した「ラーメン甲子園」では本校に初優勝をもたらすなど、異色な経験も併せ持つ多才な先生です。

「いざ教える側に立つと、多くの生徒に話を聞かせたり、集中させたりすることの難しさを痛感しました。それだけにやりがいもあり、充実感の味わえる仕事だと思います。」と自身の授業を振り返ります。

人柄に誠実さが溢れているように、授業も丁寧で、全体を把握する目配りに秀でていました。

R5.10.22 「8連覇」

道高校駅伝競争大会が滝川市の特設会場で行われ、女子駅伝部が全区間賞を獲得しての8連覇を達成しました。朝からの雨模様に加え気温の低い悪コンディションの中、選手はそれを跳ね返す強い気持ちを持ってレースに臨みました。

1区の3年 中野 芽衣さんは「スタート時の緊張感はありましたが、周囲で応援してくれている沢山の人の姿にとっても励まされまし



た」と振り返ります。

激しい向かい風と雨に見舞われた2区の3年 益塚 稀さんと、3区の3年 丸山 琴音さんはともに「ペース配分を冷静に考えながら、集中を切らさずタスキをつなぐことができました」と、悪天候にも慌てることなく終始落ち着いた走りができるあたりは流石3年生です。



唯一1年生として出場した 合田 安伽梨さんは「初めてのレースで緊張もありましたが、自分を信じてペースを守り抜くことができました」と上級生さながらの走りを見せてくれました。

笑顔でゴールに飛び込んできた3年生 本田 愛咲緋さんは「皆が差を広げてくれたので落ち着いて走ることができました。ゴールで迎えてくれた沢山の声援に応えることができ嬉しかったです」と率直に喜びを語ってくれました。

都大路（12月末）での全国大会に向け、「自らをさらに追い込み、チーム全体のレベルアップにつなげたいです」「どの区間でも走れるよう、様々な距離に対応できる強い気持ちと集中力をもって練習に臨みます」「全国に向け自信をつけることはもちろん、この期間の取組を次世代にも引き継げる充実したものになりたいです」と、駅伝部の意欲はもはや遙か高見へと向いています。

中野主将を中心にチーム一丸となって都大路を駆け抜けるまであと2か月！引き続き、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

One for all, All for one. No.97

R5.10.26 「見学旅行結団式」

高校生活最大の行事「見学旅行」の出発を明後日に控え結団式を行いました。今年度は、「関西」「沖縄」「台湾」から希望のコースの選んでの見学旅行となります。

昨年度はコロナの余波もあり様々な制約を受けましたが、今年度は5類への変更から従来通りの旅行内容に戻り、海外コースも復活することとなりました。

日常とは異なる文化に触れ、細かに見聞し、視野を広げ、様々なことを吸収し学び取ってきて欲しいと思います。同時に、友や周囲に対して気遣いができる寛容な人間へと成長してくれることを願っています。

